

名古屋市建築協定連絡協議会

協定ニュースレター

平成22年11月15日発行：第32号

平成22年度名古屋市建築協定連絡協議会「勉強会」を開催

平成22年10月29日（金）、名古屋市役所（西庁舎12階第18会議室）において、連絡協議会の「勉強会」を開催しました。連絡協議会の全会員44地区のうち23地区（33名）の参加がありました。

今回は市民の方も対象として、建築協定の知名度向上・普及啓発も行うため、「広報なごや」や新聞のお知らせ欄に記事を掲載するなど、どなたでも参加できる公開講座としました。その結果、13名（事前応募15名）という多数の一般参加者をお迎えすることが出来ました。

《講演》

愛知工業大学の杉野丞教授を講師として、『開府400年・名古屋城下町から学ぶまちづくり』をテーマに、講演会形式にて勉強会が進められました。名古屋城下町の歴史をふりかえり、尾張初代藩主徳川義直による築城と城下町の都市景観を探ることを主眼として、まちづくりのための知恵を歴史に学ぶ企画となりました。名古屋の城下町における武家地、町人地、社寺地などの構成と建築についての検討・考察がなされ、これにより現在で言う都市計画がどのようなものであったかを知る機会となりました。

また、本年、名古屋市では開府400年を迎え、市を挙げて取り組んでいるところであり、勉強会の題材として相応しいものとなりました。

《アンケートより》

当日参加者のほぼ全員の方からアンケートの提出があり、参加者皆様の満足度の高さを窺い知ることができました。アンケート集約の結果、8割以上の方より理解できた・満足できたとの回答を頂きました。また、感想の中で、『名古屋の歴史を知ることが出来て良かった』、『名古屋の街並みの歴史を知ることによって今後のまちづくりのヒントになった』等、おおかた、ご好評を頂きました。ただ、テーマについて、建築協定との関連が明確で無かったとのご意見が一部であり、今後勉強会を企画する際の検討課題としたいと思います。

《講師紹介》

お名前：杉野 丞 教授
所 属：愛知工業大学 工学部 建築学科
ご専門：日本建築史、中国建築史、都市史



会長と講師（右）



勉強会の風景

役員募集中

協議会の役員を募集しております。

各地区の運営委員で、ご興味がある方は、建築指導課(972-2918)までご一報下さい。



—今後の予定—

平成22年11・12月

不動産関連団体等へのPR活動

平成23年3月

全地区委員長会議